夕刊
# いわき民報

発行所
平市田町48 電881 1222
いわき民報社
編集兼印刷発行人　田原　登

謹賀新年
株式会社　いわき民報社
社長　野沢武蔵
外社員一同

## 年頭の辞

野澤武藏

1953年に於ける最大ニュースは奄美大島群島の日本返還であろう。終戦後の占領から解放されて独立の第一歩を印じたのは昨年である。然し独立はしたが、四ツの島（本島、北海道、九州、四国）とその周辺の小島に封じされ、胴体はあるが、手足をもぎとられて畸手、畸足をつけていたようなものであつた。奄美大島の返還は、ほんとうの足をつけて貰つたようなもので、歴史に遺されている竹島まで朝鮮の領土なりと不法にも漁業権を侵害されているとき、奄美大島の返還は沖縄や千島列島の復帰にも大きい希望を与えたものであつて、復帰した大島住民の喜びは勿論のこと、日本国民にとつて歓喜雀躍すべき歳末のニュースであつた。

この喜びと対照的なニュースは二十数年来と云われる全国的な凶作である。吾等国民に食糧問題で大きい不安を与えたが、戦争末期から終戦直後の苦難時代を経て食生活には耐えと研究を積んで居りしかも、小麦粉の豊富に依つて、パン食、メン類などの補いも充分であり、配給米の切りつめにも概して苦痛を見てないのは何より喜ばしい。

昨年は格別取上げるべき事柄も動なかつた。第五次吉田内閣も倒れそうに見えてよく耐え、鳩山派の多数復帰に依つて、まだ国会の過半数には達しないが、どうやら安定線を確保、国会解散の風も去つたようである。本県にとつては知事選挙という重大問題もあつたが、大竹知事が六十万票という多数をもつて再選、誠実と県政に対する果敢な熱情が高く賞われたものである。本県凶作対策への期待も勿論加味されていることゝ思う。

吉田首相が再三再四「再軍備の経済では再軍備を賄い切れない」というのが真意であると思うし、国民の感情は国土防衛の必要を是認しているようである。問題は、朝鮮事変の特需を失つた日本経済にとつて、MSAの援助は絶対的戦後の復興費に追われている日本な必要問題であつて、新年の折衝から切に善政を希む。

1954年　新年の課題は何んと云つてもMSA問題、即ち日本に対するアメリカの日本国土防衛費がどのような形で実現するかにある。

## 今年の希望

### 人口七萬の市に
### 隣接町村合併に全力

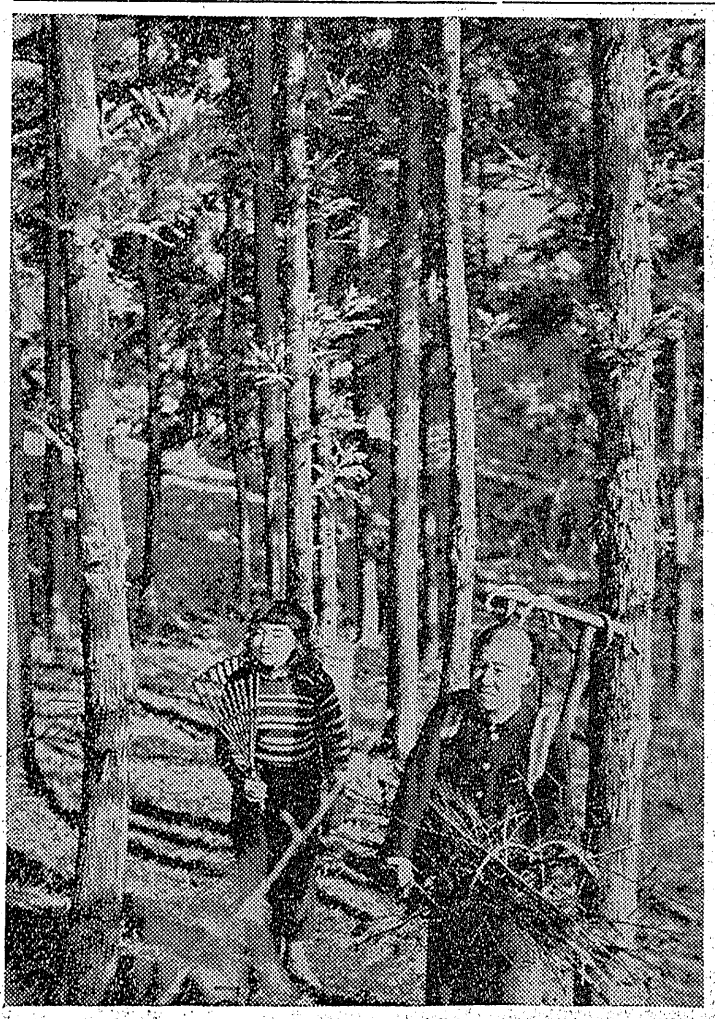
諸橋市長

新春を迎え謹んで五万市民に祝賀の意を表するとともに市政に対し倍旧の御協力をお願い致します、さて今年は大飛躍の年年を迎えた訳でありますが元旦に当つて一年の計…今年の希望図について御挨拶申し上げてみたいと思います

わが平市は市民一致の協力により着々復興計画も完成に迫り常磐地区の代表都市として大なる発展を遂げつゝあることは市民各位もすでに御承知の事と存じます、本年度は都市の構成に伴つてその内容充実に力を注ぐべき年で多年懸案の大平市建設のため共存共栄を希う隣接町村（草野村、高久村、夏井村、勿来町、植田町、泉町、赤井、好間の各一部）の人達と手をにぎり町村合併の実を挙げ、既に企画中でありました市会の協議をえて促進委員会を構成しこれが合併に際して平和的円満裡に話を進めたい念願であります、これが達成された暁は人口七万に及ぶ大都市が実現することになります、一方これに伴い交通機関の充実、文化、経済、社会の諸施設もまた完備せしむる必要があり、これまた市民の要望に応えて理想的な諸施設の計画を進めたいと思います、即ち新潟―小名浜線二級国道問題、平小鉄道問題などのほか多年要望していた常磐炭鉱の躍進地谷川瀬への進出など幾多重要問題が出積しこれらは一つとして平市恒久の動脈であり心臓でないものはありません、これら重要問題の解決はひとえに市政に対する市民各位の理解と愛市にもゆる協力がなければなりません、市財政不如意の折柄ではあるが市当局も万全の力を傾注し積極的な市政の建設に邁進する所存であります

私は常に明るい市政の建設に努力してきましたが今年もこの理想を実現せしむるため一層の励みを忘れない決意であります、因みに本年度の事業計画を例記すると次の通りであります

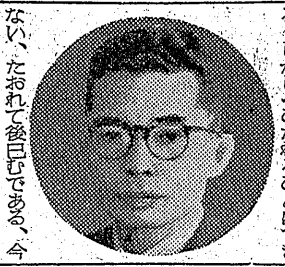
一、隣接町村合併を促進し大平市の建設
二、常磐地区綜合開発促進
三、工場誘致と常磐炭鉱の躍進に対する協力
四、交通機関の充実、常磐線電化、平小鉄道敷設、平小直通道路の完成
五、市民福祉の諸施設と商工業の振興（写真は諸橋市長）



勅題　林　（草野村にて）

## 先ず教育施設

沼田内郷町長



只見川問題が解決した本県にとつて、凶作対策が重要な課題である。地元平市は最終市会で「平市振興委員会」設置を可決した、市の振興は地域拡大にありと隣合併を目的とするものであるが、市にとつては受け容れ態勢と他を動かすに通ずる熱意が必要である。

新年には個人たると團体なるとを問わず常に新たなる構想をもつて出発するものであるから、筆者も又いわき民報の読者奉仕に最善の努力を払うことをお誓いする。

今年は午年、一つ下の羊年なのが一寸残念、しかし午馬を迎えたのであるから文字通り馬力をかけたい、仕事は山積している、ぶつ頭に浮んだものだけでも枚挙にいとまがない、やりきれないことである、しかしへこたれることはできない、たおれて後已むである、今年やりたいと思うこと二十八年度に引きつゞき先ず教育施設の充実である、県のモデル校になつた級小学校が完成したので、できれば第小学校、高坂小学校の改築をしたいし内郷高等学校の施設の拡充もしなければなるまい、また教員住宅の新設、保育施設の完備も実現しなければならないことだ、学校教育の充実とともに公民館の社会教育活動もゆるがせにはできない、特に広報活動を徹底したい衛生施設では糞尿処理、塵芥処理火葬場の建設は早急に実現したいそれから失業者救済のため失業者に技術を与える職業補導所の新設をみるので全力をあげたいし公営住宅の建設もある、このように仕事の山は大きくなるばかり―都市計画、区画整理も必須、永久的橋梁設、町道、県道の舗装、工業用水の確保なども残されており、白水、田代、桜井部落の水道施設も急務である、その他信用組合、農業協同組合の育成、家畜予託制度の強化、果樹栽培の奨励などと幾多の仕事がある、また焦眉の問題として川平、田代部落の電灯施設高坂、御台境など密集部落の電話架設、溜漑用水路の整備があり町民各位の協力を望む

謹賀新年
株式会社　坂本紙店
坂本昌蔵
平市一丁目電二〇八

謹賀新年
株式会社　平活版所
社長　坂本昌蔵
専務　坂本行蔵
平市一丁目電三〇二

創業五十周年記念謝恩新発売
銘菓
平餅
菓子司　松月堂

謹賀新年

飯野八幡宮
宮司　飯野盛男

土木建築設計請負
平土建工業株式会社

製材木工
平工業株式会社
平市爾宜町電一〇一〇

平製氷株式会社
社長　伊藤東一

坐繰生糸製造
蠶副蚕糸問屋
大泉商店
平市南町一〇電八七〇
工場　平市爾宜町四五電九二八

平運輸株式会社
社長　猪狩四郎

旧県社
子鍬倉稲荷神社
宮司　山部正勇

衆議院議員　運輸常任委員長
關内正一

参議院議員　首都建設政務次官
木村守江

福島県知事
大竹作摩

県議会議長
蓮沼龍輔

県議会議員
植田万次郎

県議会議員
小野義一

県議会議員
星友太郎

県議会議員
大平正次

県議会議員
赤津庄兵衛

県議会議員
澤田源次

県議会議員
馬目武之助

平市役所
市長　諸橋久太郎
助役　伊藤秀吉
収入役　根本益利
外吏員一同

平市議會
議長　金古政通
副議長　大嶺庫
外議員一同

社団法人
平商工會議所
会頭　野崎満蔵
専務理事　草野四郎

財団法人
福島県信用保証協會
平支部

# 馬の話

若松晴司

今年は午の歳でありますので馬に関する御話を申上げて見ましよう

第一　午とは何ぞや

午は干支十二支の第七位で、方角で午と云えば正南を表わし、時間で午と申せば午前十一時から午後一時迄の間、從つて正午とは十二時のことを云うのであります

第二　我が国には何時ごろより馬は居つたか

馬の祖先は「アメリカ」の北部及び中央部で第三紀層中に居つたと傳えられるのでありますが、我が国には何時ごろからと申しますと我が国土に移住した民族即ち樺太方面より南下した古代「アイヌ」族が馬を持つて来たのでありますから石器時代より馬が居つたものと推察せらるゝのであります

第三　馬はりこうか馬鹿か

低脳者を馬鹿と申しますので馬は馬鹿の代名詞のように思われますが、馬は決して馬鹿ではありません、何となれば馬を調教するに当り懇切溫和に急がず反覆よく教うると騎手の意志の如く運動するので苟も一度覚えたる事は死ぬ迄忘れませんから人間以上の記憶力の持主であります、彼の常歩、速歩、駈歩、駈足に於ける各種巧妙なる運動或は競馬に於ける快速力を以て競争する有様、或は各種障碍を飛越す情態等を観察せば決して馬は馬鹿でなく相当の能力の持主であることが判ります

第四　馬は猛獣か溫和の動物か

馬は元来最もおとなしい動物です、子供の時は誠にやさしくおとなしく特に放牧場で育成せられ居る時の如きは人間に対して最も馴れ馴れしくなつかしく誠にかわいゝものです、また食べ物を毎日与える飼主または溫和に取扱う者に対しては或は嚙み、或は蹴り、猛獣の性質を表わしますが元来馬の性質は溫和の動物であります

第五　馬の顔は別々かまた喜怒哀楽ありや

馬は顔長き動物で一寸見ると皆同じ様ですがそうではありません人の顔の異なる如く長きに過ぎるもの、短かに過ぎるもの、巾の狭きに過ぎるもの、膨れ過ぎるものよくしまつて居るもの、ぼけて居るもの等千差万別であります、從つて人と同じ様に美女も居れば美男子も居りこれと反対にみにくい顔のぼけたのもあります

また馬にも喜怒哀楽がありまして耳眼鼻首尾等の色々の情態に依り明かに観察が出来ます、なお涙を出したり或は頬摺りの有様に依つても推察し得るものであります

第六　馬に乘つた時の気持は

乘馬は古今東西を問わず最高の運動、最上の競技として貴ばれ且流行して居るのであります、即ち馬に乘つた時は得意の絶頂に達する気分が湧出するからであります彼の馬上豊かにして下を睥睨する傲越感或は春秋の好天気に広野を馳駆する気分は当に爽快の絶頂とも申しましよう、從つて心身の鍛練には最もよいのであります、以上の次第で馬上の英士を見る人々はせん望に堪えざる計りでなく賞賛するのであります、左の如き馬相流山の歌を見ても判断することが出来ます

駒に跨り両手にたすな
野馬追帰りの程のよさ

第七　我が国の名将と馬術

古来我が国の馬術は武芸の一として武家時代には最も重要され実戦に於て役立つたのみならず、なお武の気性を鼓舞する上に於て大に効果あつたのであります、從つて歴代の天皇馬術を練習せられたのみならず名将は何れも馬術の達人であります、最も人々にかいしやして居る有名人を列記して見ましよう

一、日本武尊の熊襲征伐及東征中は専ら馬に乘り指揮せられ且戦斗せられて居ります

二、聖徳太子は相馬の眼職卓越せられ且馬術優秀で後卅我が国馬術の各流基礎を作られました

三、田村麻将軍は大に馬術に卓越するのみならず相馬の眼識優秀であつて、特に東北地方に活躍して皇威を輝かしたのであります

四、平将門は今の千葉県地方に多くの馬を飼養し実践的馬術を訓練したのであります、特に平時に於て野馬追を奨励しなお武心の向上と馬術の練習に意を用いて居つたのであります、現今相馬にて行わるゝ相馬野馬追の本家本元なのであります

五、八幡太郎義家は馬術優秀にして騎射を善くす、從つて騎兵を敵の意表に出で速戦速決主義の戦法にて偉功を樹てたのであります、彼の勿来の関を通過せる時の馬上のさつそうたる姿は有名であります

六、源頼朝は馬術の名人で特に十三才の若年にして己に馬上能し敵兵を多数斬つて居ります

七、佐々木四郎高綱（名馬生つき）と梶原源太景季（名馬磨墨）の宇治川先陣争いは当時水馬の術も加何に発達して居つたかゞ判ります

八、源義経の一谷の奇襲、或は屋島に於ける平家の大軍を敗走せしめたのは何れも騎兵を以てす

九、那須の与市宗高が壇の浦に於て馬に乘り、海中に進み、平家の軍が美姫を舟に乘せ旭日の扇を舟に樹てたるを見事に射ち落したことは馬上弓術の巧妙を示すものであります

十、上杉謙信は馬上敵中に突入し武田信玄と一騎打ちをなしたのも馬術優秀で自信力が満々たるからであります

十一、織田信長は馬好きであつたため諸将もまた乘馬に熱心で、当時馬術は一段と進歩したのであります

十二、柴田勝家は馬術の達人で彼の愛馬（百里毛毛）は戦陣に進む時は悦びの色を現わし、必ず首を振りなきまた事急なるときは足をかがめて主人を乘せたということであります

十三、明智左馬介の湖水渡りまた阿部豊後守忠秋、平田弾右衛門の両名の逆巻く隅田川を水馬渡河して名声を発揮したのであります

十四、明治天皇は馬術に長しかつ趣味を持たれ、大に奨励せられ毎年天覧馬術を実施せられたのであります、なお古来の馬術は著しく進歩したのであります、なお古来の馬術の方式を止めフランス式或はドイツ式など欧米の馬術に改めたのであります、なお幾多の戦役の実験に鑑み馬術も改変せられ現今の日本馬術の基礎が確立せられたのであります

なお明治天皇の御乘馬金華山は名馬として能く調教せられ一時間でも二時間でも少しも動くことなく一定場所に立つて居るのであります

十五　日露戦役に於ける長谷川、永沼両旅進隊の如き敵の背後に進入し数十日間行動し偉勲を樹て騎兵として名声を発揮したのであります

十六、我が国の馬術も昭和の初年には大に進歩発達し「オリンピック」に出場するに至つたのであります、特にアメリカにて開催せる「オリンピック」大会には西大尉が大障碍競技に一等賞を獲得し日章旗を掲げ日本の名声を世界に発したのであります

第八　終言

馬は元来進むことを知つて退くことを知らざる即前進また前進という加何なる難関をも突破する性質の持主であります、從つて乘馬する者は自然に馬より勇敢進取の気性を涵養せらるゝので精神鍛練が主眼であります、熱心なる乘馬愛好者になることを御勧めします

本年は午の歳です、大いに積極的活動せらるゝは成功疑いなしと信じます午歳よ萬歳、萬々歳

（騎兵科出身元陸軍少将、いわき乘馬倶楽部会長）

# 現在九千頭になる

## 石城の馬産熱戦前に戻る

石城地方は馬の生産地であるが、近年馬に代つて牛の増殖が盛んになり馬の生産が減少しているとの声も聴くが果してどうだろうか—石城畜産農協組にその事情をきいてみた

◇—石城の馬数は戦時中は軍馬の徴発、軍馬購売、満州移殖馬（種牝馬）にもつてゆかれたゝめ生産には力を入れたが手持数としては増えなかつた、支那事変が始まつたのが昭和十二年、それ以来による馬の増産政策で昭和十六年には七千七十二頭（親馬だけ）だつたものが昭和十九年には八千百四十九頭に増加したが、いずれも親馬が徴発されたゝめ増殖にはげんだ馬匹組合としてはひとなみならぬ苦労であつた

◇—それが昭和二十二年（戦後）には七千百六頭と急激に減少したこれは馬がなくなつたため政府からの軍馬に対する助成がなくなつたほか一般には食糧難、物価高などのため馬を飼育する能力がなかつたゝめであつた、ところが生産地である川前、沢渡、三阪、永戸入遠野、上遠野、田人、磐崎の各村では依然減少せず、主に使役地が減少し種牝馬すら賣えない状態であつた、これが二十七年ごろから農馬の必要性がまた台頭し金肥だけではどうしてもこの地方の農家ではやつてゆけないので経済力の発展とゝもに馬は勿論、牛の飼養が盛んになつてきた、これが現在親馬だけで八千五百頭にもなつた、仔馬の生産数も従来年間八百頭台だつたものが二十六年ごろから一躍一千頭台に増産されてきた

◇—これは二十六年度から政府では有畜農家の創設を強調、政府資金を貸出し家畜の飼育を奨励したことが大きな原因であり、馬の変りに牛や緬羊も増加してきた、今では馬よりも牛の方が飼育が簡単で経済的であり、しかも食肉の需要が増加してきたゝめ飼育農家が増え従来、乳牛四百五十頭、和牛千頭程度だつたものが現在、乳牛が六百頭、和牛が千五百頭台に増加してきている、だが、馬の飼育数はまだ四分の一程度である

◇—現在、馬より牛に対する魅力が大きく、事実、仔牛にしろ肉にしろ高値を呼んでいる関係から馬の魅力はカゲを潜めているようであるが、馬仔の値段も当才もので一万九千円、牡は幾分高く二万一千円、平均二万円台で安定しているが牛の値につられて今年は幾分強味をみせるだろう

### 新年碁將棋會

平将棋碁楽会新年打始め碁会は二日、将棋会は三日何れも朝九時から開く

謹賀新年

磐城通運株式會社
平市田町五九
電話三五四番
四五八番

謹賀新年

日本建物株式會社
平營業所
所長　大楽弘
平市大町三電五八〇
管内出張所小名浜町上町五六
湯本町天王崎
四倉町本町

謹賀新年

株式會社一平魚市場
平市四丁目四
電一三三九番
一四六〇番

NHK
平放送局
局長　青田三郎
平市八幡小路二三
電八〇七・八一八

日本舞踊　花柳登代藏
鳴物　望月左三郎
清元　清元松之助
常磐津　常磐津三喜藏
長唄　杵屋十茂代
小唄　花菱はま豊

割烹　一の井
平市田町電一〇九

謹賀新年
昭和二十九年元旦
平信販放送宣傳部
社長　諸橋久四郎
部長　滝田七郎
平市三丁目一五電一三四

旧年中は大変御引立に預り有難うございました
本年も相変らず御愛顧のほど御願い申上げます
喪中につき年始を欠礼いたします
三日まで福引大賣出し
ホかや　平三　電203

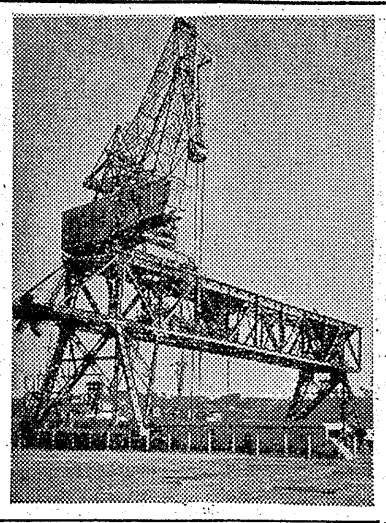
藤越の元旦は三百六十五日
ごひいきのお陰をもつてこの元旦を迎えることが出来ました。新鮮な元旦の心を一年中失うことなく奉仕させて頂きますから、一層のお引立をお願いいたす次第でございます。
お得意様に贈る楽しいお年玉
石井淡バレエ無料で招待売出中
賣出期間一月五日まで
藤越
小名浜
平市

ライカ
カメラ
カD附属品
平市駅前
富士商会

あけまして
おめでとう
ございます
平信販チケットをご利用下さいませ
三幸

# 起重機など完成
## 近く盛大な落成式

〝東北の海の玄関〟としてクローズアップされて来た小名浜港ではかねてから建設中だつた内港と三千トン荷役施設が完成したので新春の吉日を期して県が主催し近く盛大な落成祝賀会を開催し正月早々小名浜商港を世に紹介することになつた



## 高まる漁船の安全度

今度完成したのは橋型水平引込式起重機と内防波堤並に船曳場第一期工事でこれにより同港の荷役能力は倍加し更に船溜りが出来上つたため漁船の安全度が一層高まつた先ず橋型グレーン（起重機）は写真のように堂々たる偉容で県が五千百万円を投じて建設していたもの能力は巻上げ七トン二で一時間に石炭は二百トン、コークス、硫化鉱が百二十トンの荷役力があり現在同港を利用している一千トン級貨物船は今まで二、三百かゝつていたものがこの完成によつて一日実に三倍の貨物船が荷役を済せて出港出来ることになり文字通り商港として面目を一新した、旧臘十二月下旬試運転を済せているので今月中旬ごろから運転を開始する予定で運営方法は県営で行うか、民管にするか目下研究中である、また内防波堤は運輸省小名浜工事々務所が三年前から七千五百万円を投じ延長二千米を完成させたもので魚市場前から綱取三崎に結びこれによつて出来上つた袋状の船溜は二百隻以上の漁船を收容し〝海の安全地帯〟として漁業家から感謝されている、一方船曳場の第一期工事はこの船溜の西側即ち綱取三崎の山の一部を切崩して県営で建設したもので、一千九百八十坪、長さ五十米のコンクリート製斜路をつくつてあるが今まで船曳場がなくて他県の船曳場を利用していた本県の漁船は大いに助かつたと大喜びである（写真は見事に出来上つた小名浜内港と橋型グレーン）

## 實用車レース實施
### 正月競輪二日から蓋開け

一月平競輪開催日は前節二、三、四日、後節は十五（成人の日）十六、十七日（日曜日）新春を飾る競輪だけに初日の入場者には先着順千八百名（本場だけ）にもれなく景品を贈呈する、なお全国競輪界の魁けとして軽快車による実用車レース（毎日第一レース）を実施する

前節はA級5レース、B級6レース、実用車一レース、後節はA、B女子の各レース、優秀選手は前節A級で吉村昭次郎（北海道）相沢昭司（東京）福永和平（栃木）渡辺新三郎（福島）後節では中村政光（千葉）鈴木巳之助（埼玉）石山仁（茨城）吉元兼義（北海道）相等茂（福島）となつている

## のど自慢大會に
### 湯本小唄の發表會
#### 廿四日　自治會館でひらく

湯本町観光協会では一月廿四日正午からと午後六時からの二回にわたり常磐炭鉱自治会館にひらかれるNHK主催の第七回全国のど自慢コンクール浜通り予選の席上に湯本小唄の作詞、作曲者西條八十古関裕而両氏を招き発表会をひらく、小唄は振付花柳登代栄、三味線吉蔓寿、鳴物望月左三郎で小唄の踊りも行われることになつている

## 賑かに正月演藝
### 常磐炭鑛のプロ

常磐炭鉱では正月演芸は二日昼夜湯本、三日昼夜内郷の順で新装成つた自治会館、浅野記念館でそれぞれ行われる、開演時間は二日湯本会館二時、六時、三日記念館は正午、五時で二回上演され、メンバー一行の顔ぶれは次の通り

▼司会　腹話術竹馬都夢▼三番そう▼ラジオ万才　NHK柳ナナ、青柳ミチロー▼漫芸　花房蝶二▼女流万才　三柳静代、大朝家美代子▼舞踊【洋舞】あわ路玲子、峰岡泰子、源氏栄子、志麗静子【日舞】鈴川かほる▼奇術　松旭斎天歌、▼歌謡曲　コロンビア専属林康夫胡美芳、黒木曜子▼コロンビア軽音楽團（写真は黒木曜子）

## 學習品展
### 十八日平二小

平二小では冬季休業中の学習品展覧会を一月十八日各学級で行ない各学級学芸部員と担任教師が審査して優秀作品に賞状を贈る

謹賀新年
磐城興業株式會社
社長　磯崎隆次
常務　茂木茂

## 新年におもう
### 午歳生れの人

**柏原秀藏**

〝午年には不作なし〟と昔からいわれている、昨年は蛇年で凶作になるまされたが、満作の年を迎えて私の希望も大いに満作だと思つている、諸橋市政を云々する話をよく聴くがこれは決して諸橋市長が悪いのではなく戦後もたらした社会そのものにある、午年に当つて皆々もぐつと手綱をひきしめ市長に協力する必要を感じている、六十才（平市会議員）

**馬目勝次郎**

十二支の第七午年とはどんな意義を持つか雄かしいことはよく判らない、しかし自分の生れた年であるから、他の年と比較して何となく云い知れぬ深い喜びをもつてこの年を迎えたことは確かである

時を計るに午前と午後があり、午はまひるいわゆる正午で午前でも午後でもなく、一応宙に浮いているようであるが、時の経過となつて不動であり而も最も中心である

私は営業と酒を愛す、この嗜好は全く自由で法律や人力では到底阻止出来ない、好みの営業理念は（一）商業を通じて社会公共に奉仕する（二）正しい商業道で永久不変の経営をする（三）従業者の生活安定等を図る。この三つを年として他を午前と午後の如く回転し確信をもつてどつしりと地面を歩いてみたい。酒席などで営業の批判を受けることもあるが馬の耳に念仏、いわゆる馬耳東風と蹄き流しわが大黒屋を文字通り馬の目で午をよく睨めるつもりでいる、四十八才（大黒屋社長）

**佐藤軍次**

昨は足で砲りめぐつている人生だが私もはや「人生五十年」に達し五十年にもう確かでちかずこうと云う年になつた、これを想うと何かしら今年の〝馬年〟を迎えることが恐しいような怒しいような気持ちさえする、なぜなら私の半生はいわば不変の経営をする（三）従業者の生活安定等を図る。この三つを年として他を午前と午後の如く回転し確信をもつてどつしりと地面を歩いてみたい。酒席などで営業の批判を受けることもあるが馬の耳に念仏、いわゆる馬耳東風と蹄き流しわが大黒屋を文字通り馬の目で午をよく睨めるつもりでいる、四十八才（大黒屋社長）

過ぎ去り、そしてまたこれからの私の新たなる人生の第一歩が踏み出されるからだ、私が小名浜町役場に勤めたのは昭和二年だからもう二十七年間もずうつとお世話になつている、当時を回顧すれば懐しいことばかりだ、「役場などに入つてメシが食つて行けるか」と不思議がられた時代だつた、それでも初任給二十一円でも家族二人でどうにかやつてゆけたから今の暮しよりずつと楽な生活ができた文化生活？とまではゆかなくともまあ何と云うか生れ故郷の町役場にこうやつて何なく勤めさせて頂けるのも〝馬車馬の如く〟コツコツと稼いでいるせいかなと考え感謝している、人につまはじきされずにまじめに仕事にはげんでゆくこれが私の今年の抱負であり変らぬ信條でもある、四十八才（小名浜町役場財務課長）

**目黒義介**

この前の午年は太平洋戦争のはじめで諸戦の戦果に酔いしれ日本の方向を失いつつあるところだつた、それから十二年、また午年がめぐつてきた十年一昔というがこんな大きな変りかたがあるだろうか、しかし最近はまた世の中がMSAや再軍備をめぐつて昔の姿にかわりつつあるような気がしてならない、教育についてもそうした感が一入深い、日本の平和を守りぬくために、今年こそ地道な教育活動の中から力強い歩みを続けたい、私自身も今年はなにか転換期に立つているような気がする、天馬空を駆けるほどでなくとも午年にふさわしい躍進の年にしたいと思う、三十六歳、（湯本一中教師）

謹賀新年
福島縣信用漁業協同組合連合會
会長理事　鈴木常松
平市材木町九

謹賀新年
寿百貨店
平驛前
電656 1764

みんなで完納　明るい郷土
平税務署
署長　木本勝

謹んで昭和二十九年の新春を御喜び申上げます
顧みますれば明治二十七年祖父岡田治作が岡田牛乳舎として牛乳の搾取販売業を始めてよりここに六十年の星霜を閲しました、この間時流の変転に伴い幾度となく改革に改革を重ねて参りましたが、いつも変らぬ皆様の御厚情と御支援により常に業界の第一線に立たせていただいて居ります事を深く感謝いたします適々昨年は未だ有の冷害により農村は困窮し国民の食生活は大きな転換に迫られつゝあります、弊社は此の時にあたり、酪農の振興に協力して農村の経済的文化的水準の向上に努力するとともに一方においては皆様の食生活の改善に出来得る限りの奉仕をいたしまして皆様よりいただきました六十年の永い御愛顧の万分の一にお報いする所存で居ります
幸いに良き新春を迎えられまして今後共皆様と共に進む岡田牛乳に対し格別の御支援と御指導のほど御願い申上げます
岡田牛乳株式会社
取締役社長　岡田健治
平市鎌田町二一
電話五一番
直営　ミルクホール
平市紺屋町五八
電話一七四九番

賀正
1954年新春!!
2 3 4 5 16 17
平パレード
発走10時・場外、福島、郡山、若松、平
カメラと材料DP
平市三丁目（平和通り）電1092
茂木商會
賀正
昭和二十九年元旦
三井呉服店
平市三丁目電284 1248

# 資金誘導に重點

## 新な意氣で達成へ

### 綜合開發

常磐地方は石炭、水産、林産、石灰石など天然資源に恵まれ気候條件、交通施設などの面から鉱工業に恵まれた立地條件を具備している、更にその強力な整備によつてこの地区の工鉱業の振興を図り人口收容力の増大、ひいては国民所得を向上し経済力発展の意図から去る二十六年に起奏されたいわゆる〝常磐地方総合開発運動〟は過去三カ年間の歳月を費しようやく水利、鉄道、道路、港湾、工場誘致、送電線施設の計画案をまとめたが、その実現には総工費九十億という莫大な計画案が立てられた、しかしこの理想的開発計画をいかにして実現させるかという開発方式、これがこんどの重大問題である、二十八年下半期に至つて県営事業としてこの総合開発運動を進展させたが、国土総合開発指定地区にも該当せず、また国会草案の鉱工業地帯整備法案も二十九年度は見送りとなつたので現在暗礁に乗り上げた形であるが、この難局打開策として一つには常磐炭の低品位炭から化学品製造の企業化を図り、一面中央財政界から資金の誘導を図る目的達成に邁進する方向転換を樹てゝいる

## 先ず低品位炭の利用化

昨年十一月上旬東京帝国ホテルに通産、建設両省、開発銀行、県開発局などが集まり「低品位炭利用総合企業振興会」の結成を見た、これは東洋高圧、日本ガス協会、日本セメント協会などが一応企業体制を整えたワケで本年度から二カ年後に従来常磐地区にある低品位炭四千カロリー以下二千カロリーのボス炭、微粉炭（月産七万五千トン、年間九十万トン）を加圧ガス法により生成し次の用途、またはこれを綜合された形の製造事業に向ける、即ち上級炭はボイラー用燃料、中級炭はコツパース法でガス化し小名浜硫安工場のアンモニア原料ガスとして供給、尿素及び副生硫安またはりん安の製造、アクリルニリル系繊維またはプラスチックを製造、残ガスは工業ガスに利用、下級炭はVKW式火力発電所に使用、同時に排出する灰分でセメント、レンガを製造、また副産物はタール、タール酸、オレフインその他各種燃料用に供するというものである

県もこの低品位炭利用企業が常磐工鉱業地帯整備とこんどの総合開発への基礎となることに期成同盟会と意見が一致し二十九年度から実施する磐城工業用水道事業計画書をきとめあげ昨年十二月建設、通産、経済審議庁に計画書の説明を行つて本年からは大蔵省、開発銀行などと会合してこの開発に必要な工費九億円の財源の獲得にあたる方針を樹てたのである、この建設費九億円は毎年の国庫予算水道、灌漑用水道費十一億円（昨年同予算額）からみても本年度は三億円のわくだけはなんとか獲得して今後三カ年事業としてその一部一億円は既成の常磐、呉羽、日本水素などの事業体から借用か寄附の形で融資を仰ぎ事業着手段階に持つて行こうとするもので今後は大蔵省、開発バンクあるいは資本家政治家を動かすための融資工作にポイント運動があるわけである

## 水利計畫の大要

磐城工鉱業地帯整備の工業用水道事業計画書をみると次の通りである

先ず現況の用水をみると夏井川、好間川五個、鮫川七個の計十二個が炭鉱用水、日本水素十二個の合計二十四個だが、二十九年十二月未完成予定のコツパース式微粉炭ガス化装置の運転になると更に十五個、江名、豊間の水産加工業用二個の不足分がある、鮫川開発によれば百二十個の用水が補給され将来予想される当地方の資源開発の基礎となるというものであり工事は二十九年から三十一年度までの三カ年間計画、工費九億円である

水源地は上遠野村根岸字凡木坂地内の鮫川本流と久遠野川合流点の下流百六十米の地点でこゝに固定せき設け水道路線は上遠野—磐崎村田場坂—同村高倉—湯本町日渡—内郷町堀坂—湯本町—水野谷—小名浜町金成—町岩出—同町相子島—同町南富岡に至る

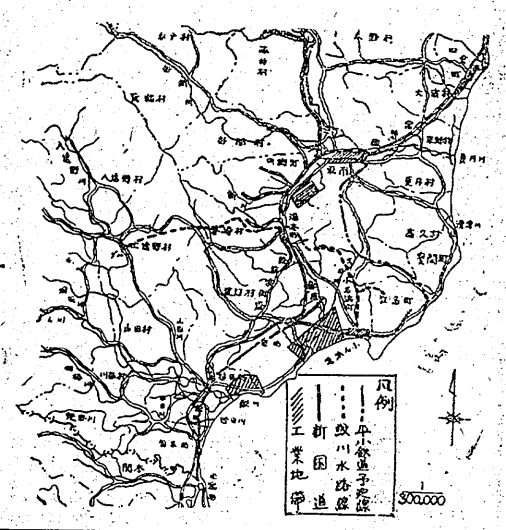
もので全水路線延長二万三千八百七十六米（うちずい道三十八個所一万九千八百六米、暗渠一個所七十米、逆サイホン八個所四千七十米）である

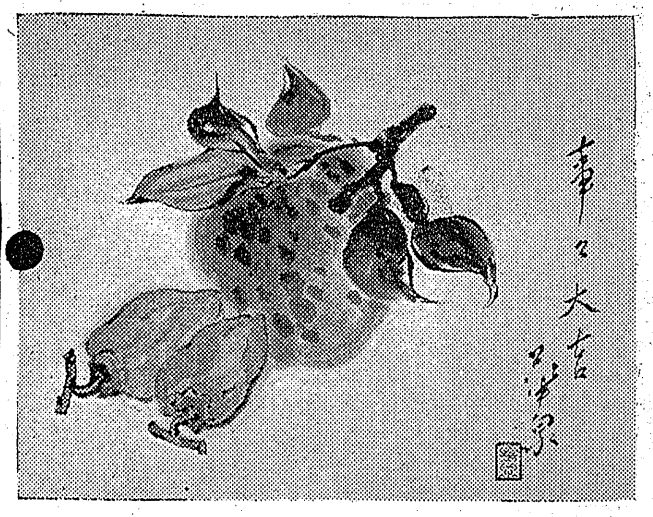
給水区域は磐崎村、湯本町、内郷町、小名浜町、江名町、豊間町、泉町の七カ町村である、この用水料金は一立方米当り二円から一円三十五銭の計算である

この総合開発はそのほか小名浜港の一万トン岩壁建設、平小鉄道道路改良、工場誘致敷地の設置日平線の電力設備の完備等各部門が計画されている

橋本磐総合開発期成同盟会事務局長も次のように語つている

中央の経済界に常磐地区の将来性をときこの計画に関心を持たせること、また大資本家や政治家の協力を得て推進していくことが大きなカギである



日本畫家　大平華泉畫

### 植田出初式

**三日に擧行**

植田町消防團では恒例の出初式を三日植田小学校々庭で盛大に催すこの日は新規に購入したいすゞ製親子自動車ポンプのひ露及び規律訓練等の演式も行われる

### 植田名刺交換會

植田町の名刺交換会は一日午前十時から植田小学校講堂で盛大に催される、先ず渡辺町長の式辞と重立者の祝辞があつて祝宴に移り万歳を高唱して散会する

### 植田の各學校

植田町の各学校では元旦の日を寿くため午前十時から講堂で先生方と生徒のお目出たい会を開き終つてPTA会から児童生徒に教材やお菓子等の贈物があつて万歳を叫んで散会する

### スキー練習

**磐女高沼尻へ**

磐女高体育部では職員六名、生徒四十名が二日から六日まで沼尻でスキー練習を行う

### 書初め展

**平二小で十八日**

平二小では新春を寿ぐ書初め展覧会を一月十八日ひらく、題材は四年生「平和の光」（かい書）五年生「希望の新春」（かい書）六年生「平和日本の春」（行書）三年生以下は硬筆で更紙一枚のうち半頁を絵、半頁を硬筆習字とする

### 調理士講習會

平保健所では第一回調理士資格認定講習会を次の日程で行う、会場は未定

▽一月十三日食品学大意▽十四日栄養学大意▽二十日調理理論▽二十二日食品衛生大意


祝　正

小名浜町
日本物産商會
安川市郎
自宅　電話三三五番
第一工場　電話四四〇番
第四工場　電話四四一番

船具
合資会社　鹽屋商店
代表社員　小野寿夫
従業員　一同
小名浜町古港　電二九

小名浜町辰巳町
三洋海運株式會社
小名濱出張所
所長　石川清

小名浜港
興洋電氣
高村大五
外職員一同

磐城通運株式會社
小名濱營業所
所長　野口源太郎
小名浜町船引場四三
電話小名浜二一番

和洋酒
食料品
海産物
加藤屋商店
佐藤政治
小名浜町本町電二三〇

呉服の御用は！
〝價額より品質を誇る〟
さんかんや へ
株式会社　さんかんや
代表取締役　鈴木睿夫
小名浜町中鳥電四六二

小名濱建設業協同組合
理事長　太田武彦
副理事長　草野道人
理事　柳内庄八
〃　作山安太郎
〃　岸由五郎
〃　田岩雄
幹事　内田松之助
〃　小原政一
参事　吉田

味噌醤油
醸造元
綠屋商店
志賀要平
小名浜町古港
電話二九番

山形建設工業株式会社
勿来町関田
電一四〇番

勿来町関田須賀一
株式会社　小澤商店
取締役社長　小沢栄太郎

土木建築請負業
大木光男
山田村大津電二三〇

オフセツト　活版　製本
株式会社
植田印刷所
代表取締役　渡辺一男
植田町台町三三電六八

月払建築
西武住宅相互株式会社
小名濱營業所
所長　小野幸次郎
小名浜町下町一八古港一九三

神経痛一服薬一手販売元
タカラヤ薬局
薬剤師　小野義敬
小名浜町古港電二〇四

新刊図書雑誌工業書図書協会特約店
柏屋書店
小名浜町定西七五電六八四

薬品　化粧品　親切本位の皆様の店
西原延壽堂薬舗
小名浜町中島電五九五

和洋酒　味噌醤油　罐詰類　調味料　食料品類
信州味噌特約店
正駒酒店
小名浜町古港三二電三一七

文房具　ボタン類　裁縫用具品　叶屋商店
草野庄平　小名浜町電四七
東映、東宝、洋画封切場　叶屋興業　キンど館
支配人　大石昇　小名浜町本町電六七〇

シンガーミシン福島県指定販売店
石川ミシン商會
小名浜支店電四六六

婚礼　写真
出張撮影
カメラと現像
焼付迅速仕上
鈴木寫眞舘
小名浜町本町電一八

セトモノの御用は
渡邊セトモノ店へ！
小名浜町定西五九電六二八
支店　小名浜町古港八

船具　漁具類一式
合資会社　小林船具店
代表社員　小林淳宏
小名浜町古港七〇電二七五

カメラ
写真用品
現像
焼付引伸
伊勢丹カメラ店
小名浜町古港二電四〇四

新刊書籍、雑誌、古本売買、貸本
田中書店
本店　小名浜横町四三小名浜駅通り
支店　〃　定西三五第二小校通り
電話七三九番

今年もまた皆様の健康に率仕させて頂きます
長生堂薬局
薬剤師　岡部卓司
小名浜町中島電三七〇

漁業用品一式
マニラロープ
ワイヤロープ
塗料
小名濱水産株式会社
取締役社長　水野政治郎
外従業員一同

皆様の健康相談所
合資会社　ダルマ薬局
薬剤師　阿部正男
小名浜町本町電二三二

# 産業は科學化する

## 五日に印度洋へ

### マグロ漁の開拓に

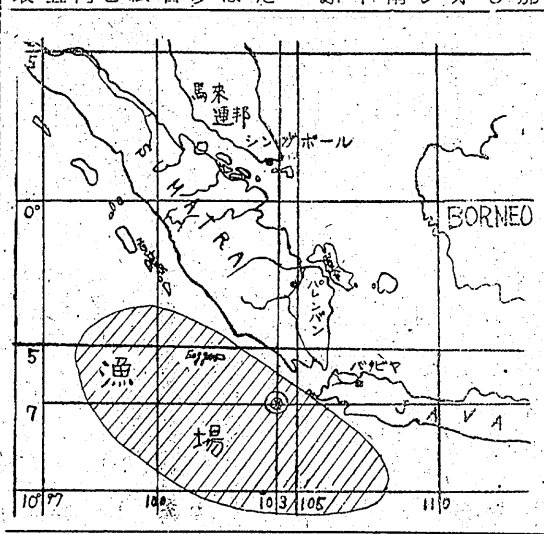
波濤を越えて遠く南（三千五百浬、南半球に横たわるスマトラ島の西方に当る広大な印度洋に雄飛して）水産福島県のため小名浜港所属本県指導船磐城丸（百二十八トン）がサイパン丸マグロ船團に参加して新春の五日小名浜港から鹿島立ちすることになり新春の話題となつている（写真は磐城丸）

## 船團は大型六隻

### 三月末まで従事

本県船で印度洋まで遠征するのは今度が始めてで本邦を中心としたカツオマグロ漁業が案外振わないため県水産試験場が遠洋漁船の新漁場開拓の目的で同船を派遣することになつたもので、大洋冷凍母船会社所有サイパン丸（三千七百三十七トン）の船團に参加することになつたわけ、同船團は磐城丸など百トンから百五十トン級大型漁船六隻と母船に積んで行く十トン級の漁艇六隻からなつており、母船は旧臘二十日東京を出帆したが磐城丸は一足遅れて母船を追い沖縄列島にそつて南下、バシ海峡、南支那海、ボルネオ海をひた走りにはしり赤道を乗越え密林の島ボルネオジヤバ、スマトラ島に囲れたスンダ海峡を抜けて印度洋に進出、南緯七度、東経百三度、丁度スマトラ島の西海岸の沖合で十七昼夜ぶりに母船と会合し、三月末まで、マグロ漁に従事することになつたこの附近はマグロの宝庫と呼ばれるところでキワダマグロが多くカツキマグロなども獲れ一日三千貫位の漁獲は確実だと折紙がつけられている自網り（大きさ）は平均十三貫匁程度だが内地なら貫当り四百円乃至四百五十円もするマグロが母船との取決で平均二百二十円程度の契約になる、然し殆んど無風地帯で漁労は順調に進む見込みなので相当数でこなせることになつている、漁法は延縄漁業によるが投縄は午前三時、揚縄は翌日の午前零時乃至一時になるので相当忙しいが海が平穏なため能率は上る見込み

県水試では今度の磐城丸の遠征について詳しい資料を集め来年から本県の各遠洋漁船にこの結果如何によつて奨励しようと特に浅利龍雄技師（さ）を同乗させ印度洋漁場の調査に当らせるが、乗組員は船長近藤富重氏（さ）ら二十六名がそのまゝ乗込むことになつている、また九十日間の永い航海に耐えて狭い船内生活をする乗組員に対しては娯楽的慰安も必要なので電蓄設備を整える一方、日本語放送を聞かせるため短波をつけラジオで楽しませようと暖かい思いやりに気を配つている、また赤道に近いため相当暑い見込みなので防暑帽や夏服をトランクに詰込むなど季節はずれの準備に関係者も吃驚している



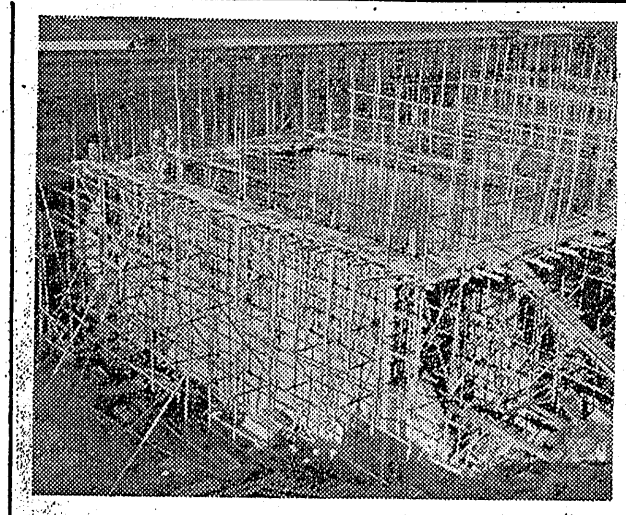

## 國際漁場へ

### 菅野場長語る

磐城丸の印度洋進出について県水試場長菅野健一氏談＝今度の計画は本県船のトツプを切つて印度洋に行くと云うばかりでなく文字通り国際漁業への参加と云う意味で意義がある、マグロ漁業に従事中は母船は十二浬、磐城丸などは三浬以内の領海に入いることは禁じられているので南洋の島だから珍らしいと云つて無断で領海を侵すことのないよう県指導船として恥しくない態度で臨むように乗組員によく話をしたがさぞ立派な成績をあげて呉れるものと期待している（カツト版は活躍する印度洋）

# 躍進の機械設備

## 特に驚異の水中貯炭場



### 石炭

企業の合理化に伴い常磐炭鉱では機械設備の拡充を図り人員の適正配置を行つている、近年同炭鉱が行つた近代的施設はめざましく枚挙するにいとまがない、一寸指を屈しただけでも二十位は数えられる大きなものを拾つてみただけでも鹿島坑坪下一斜坑のロングといわれる長壁式採炭方式採掘、これは今まで〇・七トンの木製炭車にコンベアから積みこんでいたものを昨年八月から一・五トン鉄鋼炭車（五〇〇台）に切換えたもの、二十六年一月に三百二十万円で完成した湯本六坑選炭場にあるグレーンも大じたもので、これは選炭場で水洗されながら機械選炭されトイを通つて四つに仕切られた沈澱バツクに流れこんだ微粉炭をすくいあげ、直接貨車に積みこまれる仕掛けになつており、容量が〇・七トンあり現在では総工費五百万円はかかるだろうというもの

また湯本六坑の屋根つきズリ捨てコンベアも大したもの、昨年一月五百六十万円で設備されたそうで四百八十米もあるスキツプガータまで巻揚道があり海抜七十六米のズリ山頂上まで自動式に運ばれるものである、それから常磐のホープになつた鹿島坑の選炭場がある、これは工費一億円で二十四年十一月に完成したもの、ダム式立選機二台、再選機一台が設置され一台で一時間に五十トン選炭できる能力があるという

内郷鉱級坑高野作坪下のポンプ座は常磐最大の規模で二十五年十一月に完成された、級坑の排水はこれ一つで完全で七百五十馬力の大ポンプが八台あり一分間の排水量が千六百立方にのぼつている、このように常磐炭鉱の機械化設備は日進月歩だがこれらの中で特記され最も注目されるのは目下内郷鉱住吉坑に工費三千五百万円で工事中の水中貯炭場である、貯炭場の容量は一万二千トンにのぼる大きなもので日本でも余くめずらしい近代的施設である、水槽は縦五十五米、横二十米、深さ六米あり水槽が特塊、特中塊、特粉等々に五分して貯炭することができるのだというからとに角便利なものでスムースに合理的に貨車積みが機械的にできるワケ、この施設は原炭をそのまゝ貯炭すると風化したりニツベーとなつて燃焼したりするのでそれを防止するため建設されているもの、貯炭法は二十六年四月工費四億円で建設された中央選炭場からベルトコンベアで流されてきたものが特塊、特中塊、特粉などに五分されている貯炭場に機械的にそれぞれ分けられ貯炭される、貨車積は高量一トンのグレーンバケツでシユートから直接積込まれる仕掛けになつているという

（写真は水中大貯炭場）

謹賀新年
湯本町商工會
会長 吉田恭平
副会長 小井戸庄松
若松英三

謹賀新年
マツダ三輪トラック
福島県総代理店
福島マツダモータース
平営業所
本社 平市三丁目三電一五四一
郡山市原田町二七電一一一二

謹賀新年

小名濱海上保安部
部長 池田清

小名濱臨港鐵道株式會社
取締役社長 浦田文二郎
常務取締役 真木弘
総務部長 小野信一

小名濱機船底曳網漁業協同組合
組合長 田島繁夫
参事 西村巌
外役員職員一同

小名濱地區警察署
署長 鈴木龍之助
次席 渡部善正

小名濱みりん乾加工業協同組合
組合長 小野利一
副組合長 安川市郎

亀味噌醤油
株式會社丸亀坂本商店
植田町 電話一二〇番

植田土木監督所
所長 山野目惣次郎

鮫川堰土地改良區
理事長 古川傳一

植田町營林署
署長 百瀬美佐雄
庶務課長 福田倫
經營課長 今村達視
事業課長 林一雄

小名濱町金融團

小名濱町内校長會

運輸省小名浜港工事事務所
所長 伊藤甫

小名濱町教育委員會
委員長 菅原勲
教育長 斎藤昇一

小名濱漁業協同組合
組合長理事 三代義勝
理事 野崎貞行
馬上庄治
比佐政種
小野源右衛門
斎藤誠吾
水野良吉
渋谷岩夫
吉田子之吉
監事 草野増太郎
庭田充男
田中常太郎
主事 小野田基
外職員一同
電話（小名浜）二三番、組合長室 総務 經理
三三番 庶務 船舶 購買 当直
二八〇番 販売部
五一番 製氷冷凍冷蔵工場

小名濱町婦人會
会長 古川クラ
副会長 前田艶子
永井佳子
北郷千代乃

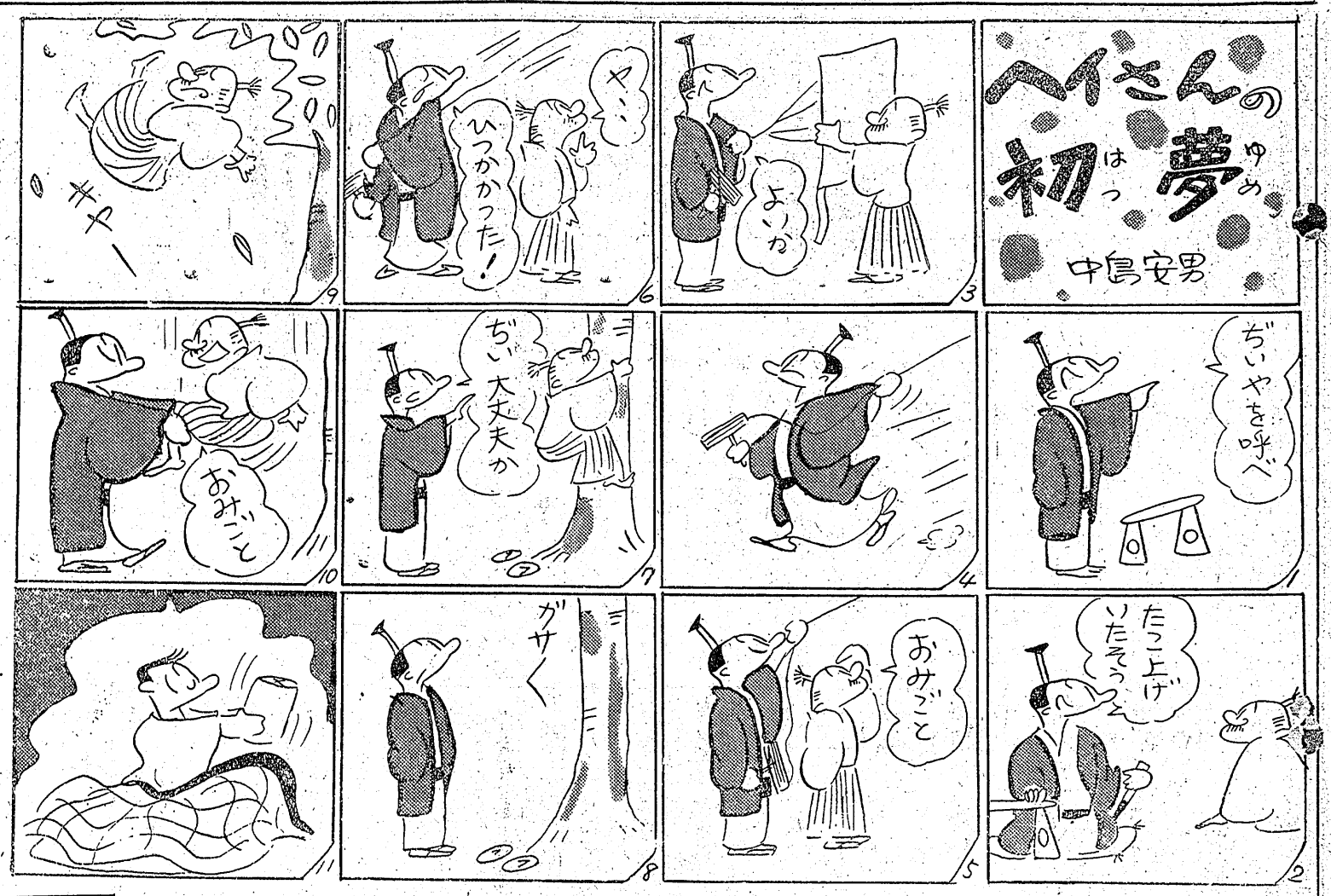
金成土建株式會社
社長 金成泰三
錦町中田 電二一七

小名濱郵便局
局長 佐藤幸助

小名濱電報電話局
局長 新妻新盛

# 映画のページ

## ★★★☆☆☆




## 馬肉は美味

馬はもうかる動物ではなかつた、然し日本軍事上に必要であつたため往年これを奨励した、もうかる動物は牛であるということは専門家は知つていた、それで近ごろは馬を牛に乗りかえる人が多くなつて来たので馬の数は年々減つて行くかに思われたが肥料を返る上から再び馬産然は上つて来ている、馬の肉はウマイかまづいか、近ごろは馬肉をまた売出したが、もとは桜肉とかケトバシなどと名づけて牛肉の三分の一ぐらいの値段で売つていた、金のないものは特に貧乏学生などは食つたものだ雰消しになると思つた時代もあつた様だ馬肉は真赤で老朽馬の肉はまづい、然し若い肥つた馬はなかなか美味、大低味噌煮にする腹一パイ食えるのが特長ともいえようもと病死した馬は土葬した、ところが夜中にこれを掘つて肉をとり味噌漬にして食う奴があつた、村の若い家で珠数つなぎに検挙された事件など珍しくなかつた、ウマクない話であつた

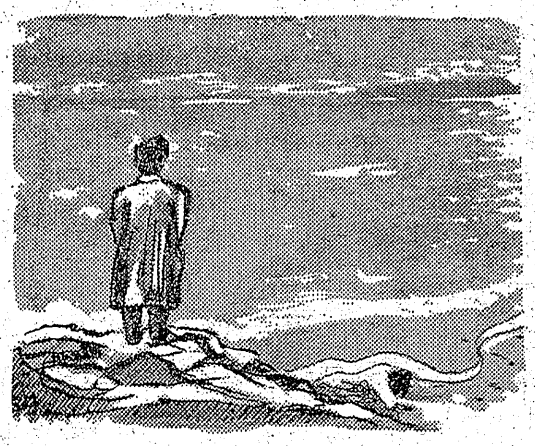
## 馬は馬鹿か

ピン感で利口な馬がどうして馬鹿といわれるか、馬鹿という文字は支那から生れたようでこれは馬も鹿も肝臓がなく、キモが足りないというところからひつかけて生れたもの〻ようです、それに馬も鹿も群生動物でよく鹿など群をなし先頭の鹿が崖を知らずに越えると他の鹿たちも一緒にその崖に飛込み心中をするところからそのようにいわれたのかも知れません

（平家畜保健所長河原田雄三氏）

## 青遠街 28

宮森明夫
丸山久壽畫



柄にもなく元朝詣りをすませると、青菜塩吉は津田のアパートを訪ねた。二人で海へ行きたかつたのだ。

「こんな寒い日に海なんかにゆくバカがあるかい。この前風邪ひいたの忘れたのか。

にべもなくことわられた青菜塩吉は、その足で島宮のところに行つてみた。島宮はこたつにもぐりこんでむつつりしていたが、珍らしく上機嫌で素直に誘いに応じてくれた。バスから降りると二人は真直ぐ海岸まで歩いた。島宮は青菜塩吉がやんちゃな子供のようにはしやぐたびに、明るい微笑をもらした。海岸につくと、青菜塩吉は一生懸命、貝殻を拾いはじめた。島宮は一人はなれて崖頭に立ち、孔える海をみつめていた。白い波が怒天にくだけるたびに、島宮の暗い脳裡で過去の生活史が一枚一枚めくられた。夏は汝第に空虚になり、真黒に溶りつぶされた最後のページがめくられたとき、島宮は真暗な深淵にのめりこむような眩まいを感じた。虚無というよりそれは魂の荒廃だつた。作品と現実の背反がその原因なのだ。しかし、砂漠の中にもオアシスがあり、水のない砂漠にもサボテンの花はつつこんだ。

喚くのである。そのように島宮の記憶に今まで愛した女たちの幻影が浮んでは消えていつた。彼女らは向うから去るか、自分から離れるかした。この世の中には純粋な愛というものはないのかもしれない。と思つたとたん、白い波頭に中原中美の面影がチラリとかすめた。遠くで「島宮さーん」と呼ぶ青菜塩吉の声がした。ふりむくと青菜塩吉がなぎさでやたらに片手をふつていた。息をきらしてかけてきた青菜塩吉の瞳の中に、赤や青、色とりどりのきれいな貝殻があつた。

「これだけ集めるのに、うんと苦心した」

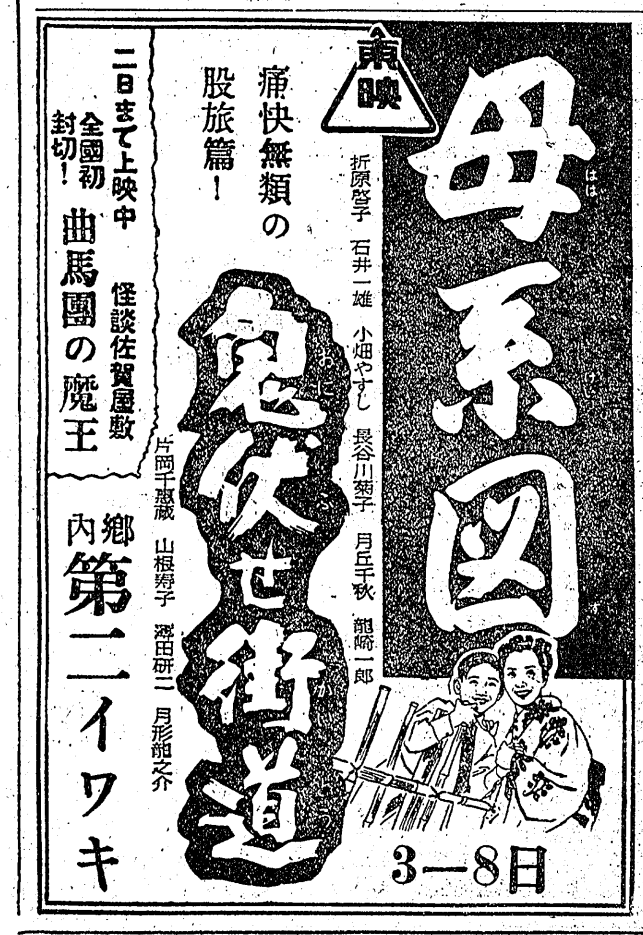
青菜塩吉は、ニツコリした。そのとき、今まで愛つていた灰色の空がやぶれたのか、俄に一條の光りがさした。青菜はまぶしそうに眼を細め、ますますニコニコした

「島宮さん！これで町ちゃんにブローチつくつてやるんだよ」

「そりやいい！」

島宮は思わず笑つた。青菜塩吉もはにかんだ女のように笑つた。そして、点々と続いている足跡をみつめ、さも大事なもののように貝殻たちをオーバーのポケットに

あけましておめでとうございます




二日まで上映中　怪談佐賀屋敷
全國初封切！　曲馬團の魔王
郷内第二イワキ

# 短歌・俳句入選作

本社は昨年末に新春の短歌と俳句を募集したところ郷土の歌人俳人から続々と応募されたのでそのうち厳選の結果左の通り入選した、なお推薦の三位まで謹謝を贈ります

## 新春短歌六人集

平市　伊藤弘道

一夜さの慈雨なりしかば冬の菜のあひだの土は膨張したり
低まりし太陽光のまともなる一樹のもみち散りはらげり
赤ごと吸殻一つ吹かれゆき夜ふけし冬の草にとまりぬ

春潮　平市　大内与五郎

燈台に日光みちびく窓ありてあるゝひかり梶先に射す
船ひとつ浮かばぬ海の春潮にとほく煙りて七浜は見ゆ
動きゆく世代に疎く父ありき部屋をわかちて夜の仕事する

小野田炭鉱　岡和一

隣人に率仕がしたくなりてするわがつゝましき明け暮であれ
善き行は山川草木の容さへ改むといひし人ありいにしへ

瀬戸のふた一つ清らに置かむかな庭に芝うゑる中央に蘇鉄植ゑ　湯本　後藤欣子

リンゴの香の高きもみ殻を新しき枕につめて初春の夜をねむる
あたたかき色に燃え初むる鑑の火に主婦の一日の思念が美し　湯本　河野通康

舌圧子入るれば眠りゐし患児かすかに笑みて舌圧子吸ふ
穿刺する度に驚きし幼児のけふ笑顔見す快きに向ひて
入念に縫合しゆけば落ちかゝり耳の漸やく形とゝのふ　白木　英尾

わが心しづかにあれよヨルの雨にぬれたる石のおもて見えつゝ
はつはつに花をつけたる雪柳冬のなかばの日にゆらぎおり
佐太郎がたまへしひとつ茂吉書の色紙がありて一日たのしむ

## 俳句

渡邊何鳴選

推薦句

豊間　志賀みどり

目覚むるや病床六尺年新た
病床に新年を迎えた作者の感懐をたんたんとのべている、上五の発想新鮮

平　斎藤英子

筆ひゞき初雪水のごとく澄む
いかにも新春にふさわしい典雅幽玄の句、清澄な元朝の心境は何人にもかくありたきもの

豊間　今野雄平

初雀啄耐えあれば羽づくろう
啄を耐えて羽づくろいしている雀のさゝやかな動作をみつめている病者のデリケートな心はえに胸うたるゝおもい

俳作

豊間　野崎茂炎

賀状書き終る夕日となりゐたり

同　鈴木冨子

凍雲やひにかゞやきて浪静か

平　小菅人女

弾初の琴の音かとど澄みわたり

大浦　若松長春

引揚の身にもこよなき初日影

平　草野恒天

初日の出かの大杉の秀を染めて

同　高島西次郎

門松や隠居ながらも派手ごのみ

同　小林雨竹

宿の娘は餅の恋人初映画

同　明智美代子

初なぎの潮おうらかにながれたり

植田　多賀康造

初日の出髪とゝのえて拝みけり

選者吟

何鳴

爽白の蕾先の枯れもめでたけれ

教育委員として

もつぱらの学事に今年幸あれよ凶作のわらとて青き飾りかな

## 短歌

編集局選

平市　吉田信子

朝明けてふるさとにみる山のいろ
光ゆたかにかがやきており

平市　草野れい子

新しき日本の幸を祈りつつ
けさ昇る日を拝がみにけり

平市　植田伊乃

空のるりしだいに失せてうねりゆく波の青さがとほくうつろふ

平市　小林文蔵

試掘許可ありたる鉱山に新しきけさの光はさしそめにけり

平市　城山白魚

相手の音はしだいに遠くなり社はもとのしじまに還る

平市　蛭田いさ

新しき年を迎へていふことなしずこやかなる身に只ありがたき

平市　植田光子

石段をのぼる足もとに神々し微となれる光がさそふ

いくさなき初東雲に舞いたちて白鷺なくひかりかがやく　平市　村山

新春の陽の暖子を染めて射しくればちいさき虫のかげ蹤るなり　平市　堀越美津子

身じろけば鳴る音のよしこの新春はろばたの疊あたらしくあり　平市　堀越美津子

## 詩

誰がために花びらを　津村ひろし

厳しい寒気のなかにも
福寿草は　咲く
誰がために花びらをひらくのか？
街路に　朔風は吹きすさび
盥埃を踊らせ
木木を枯らす―しかし
いくら傷めつけられても
鈴懸は　緑の芽を噴く
物言はぬ自然の
このりん烈たる意志と
大いなる生命の自由を知らう
曇天にやがて　陽は輝くであらう
われらは　頭をあげ
手を握り合つて　雷きつけよう
この新しい季節の扉に
〃地に　愛と　平和を―〃
厳しい寒気のなかにも
福寿草は　咲く
誰がために花びらをひらくのか？
われらが自由の　これは琴の歌だ

## 迎春

冨傑

水平線の
波に匂ふ初日の光
空の東雲
金色に彩り
新を迎へ旧を送り
明けゆく世紀の今日の春
創世の力、
風とふき雲とながれ
雨とふり雪とつのり
星宿回りて
初日の日射しをうけ
都も郡の春の色、
夢陽の望み梅りながらむ。

## 圖工研究會

十六日湯本一小

湯本一小主催の図工科研究会は一月十六日午前九時から講堂にひらく、県教育委員会から学校教育係相田義勇指導主事を招き郡内小中校の図工科主任が集まることになっている

## 補導生募集

平職安所では平公共職業補導所第三期生を募集する

▼募集人員三十名▼応募締切一月十五日▼入所試験一月下旬（筆記、口頭試問）▼入所式四月一日▼修業年限一カ年

応募者は定員のおよそ三倍と見込まれている

## 榮養と体位

錦中で講習會

錦中学校では保健委員会の組織強化について一月二十七日校長外保健主事榮養教官等が参集し日ごろの研究事項が発表されるが、主な研究テーマは栄養と体位について尚当日は東京から吉田農学博士を招いてビタミンと栄養についての講演会をひらく

祝新春
高級呉服と實用衣料
かみや
平市二丁目電2-56

謹賀新年

合資会社　松屋呉服店　植田町駅前電三〇九
渡邊重三郎　植田町
星克夫　植田町一〇〇
磐城通運植田支店　支店長　北郷徳助　支店長代理　坂本喜
菊多地區金融團（イロハ順）
東邦銀行植田支店　支店長　小林保治
東邦銀行勿来支店　支店長　佐藤保
大東相互銀行植田支店　支店長　鴛野素明
植田信用金庫　理事長　赤津庄兵衛
福島相互銀行植田支店　支店長　吉田吉二
常陽銀行植田支店　支店長　鈴木美代吉
大和屋呉服店　植田町台町電三六
運動具事務用品文具　東京堂商會　植田町電二四一
勿來木材工業株式會社　勿来町電二三
磐城通運勿來支店　支店長　赤津慈一郎
洋菓子と榮養パン　錦製パン　錦町大倉電二一六
錦町農業協同組合　組合長　鷲清章
入遠野村役場　村長　平子太門　助役　上遠野駿一　收入役　平子利一
入遠野村議會　議長　折笠兎子太郎　副議長　上遠野平七

昭和29年度・大黒屋が心を込めて皆様にお贈りする新春奉仕の努力
品質の向上・値段の引下は毎日売出し
365日毎日が賣出し・毎日が奉仕・本年毎日の大黒屋を御覧下さい
奉仕は利潤に先行する
奉仕動機による経営

感謝　大黒屋を御支援下さる皆様へ
皆様の絶大なる御支援の御蔭を持ちまして大黒屋も連鎖六店を加える事が出来ました只感謝あるのみで御座います。
本年は皆様の高き御恩におむくいする為さらに覚悟を新たに致しまして品質と価格の徹底的合理化を配りまして皆様の利益を護るべく社長以下全従業員決意の努力に邁進致します。全連鎖店の毎日の姿を御一覧の上昨年以上の御支援の程ひとえにお願い申し上げます。
社長，馬目勝次郎　以下全店員一同

皆様の利益を護る店
大黒屋
小名濱店　湯本店　金坂店　平大丸店　平支店　平本店

平本社　平市南町　電　1759
平本店　平市三丁目　電　219
平支店　平市三丁目角電134　793　1675
大丸店　平市三丁目　電　1599
内郷店　内郷町宮金坂　電1772
湯本店　湯本町三函　電　315
小名浜店　小名浜町　電　310
東京仕入連絡所　芝場町　電9112
化粧品卸　大黒屋商事株式会社　平市南町電34